

膵・消化管神経内分泌腫瘍(NET)診療ガイドライン Ver.1.1(抜粋)

CQ1-5. NET の転移の検索に推奨される画像検査は何か？
CT, MRI, US, FDG-PET が推奨される (グレードB)
肝転移の検索には動脈相を含む造影 CT が推奨される (グレードB)
<u>FDG-PET</u> NETのように発育が遅い腫瘍の同定には向いておらず、肝転移巣を含む再発巣の同定率は低いが、未分化で増殖能力の著しいNECの再発検索には有用である。FDG-PETで陽性の腫瘍は急速に発育する可能性が高く、そのような腫瘍のSRSやCTによる検出率はPETよりも劣る。
<u>SRS(ソマトスタチン受容体シンチグラフィ)</u> (保険未収載) ガストリノーマにおいて、SRS 単独での肝転移の同定率は、MRI, CTなど他の検査単独よりも高く、他の検査の組み合わせと同程度であった。また、SRSは他の画像診断で同定できなかった転移巣を同定できた。再発巣同定の感度、特異度、精度すべてでSRSがCTとMRIの組み合わせよりも良好であった。このように単独検査ではSRSの高い転移巣同定率が報告されているが、本邦では保険適応が認められていない。